

みなさん！こんにちは！

さつまいも通信発行担当・人事総務部の〇〇〇と営業本部の〇〇〇です。毎月ご覧いただきありがとうございます。今月も地域新聞社グループの皆様にご協力いただきありがとうございます！

～ADHDと知能検査と私～

担当：〇〇〇

こんにちは！〇〇〇です。今回は私がADHDと診断された時に受けた知能テストとその結果についてお話しします☆

ADHDは、医師との対話の他、知能検査を受けて診断されます。私の場合は、WAIS-IIIという知能検査を受けました。

IQは大きく「言語性IQ」と「動作性IQ」の2つに分けられ、言語性IQは「言語理解」と「作動記憶」、動作性IQは「知覚統合」と「処理速度」の2つの要素によって構成されています



IQ	知的発達水準
120以上	非常に高い
110～120	高い
100～110	平均の上
90～100	平均
80～90	平均の下
70～80	境界域
69以下	知的障害

私のWAIS-IIIの結果を見ると、全体IQは平均より高いものの、言語性IQと動作性IQのそれぞれの項目を細かく見ると得意不得意にかなり差があり、能力のアンバランスが目立つことがわかりました。

IQの平均は90～109で、その中で、一番高い能力の指数と一番低い能力の指数の差が15程度で収まると健常者、差が30になると発達障がい者である可能性が高くなるのですが…

私はなんと一番高いIQ(言語理解)は驚異の140なのに対し、一番低いIQ(処理速度)はまさかの75でした。(※ちなみに、IQ70～85は境界領域知能と言われてます)

つまり、65も差があります。

※私→



今まで「私、なんか周りとは違うかも…？」とショゲることが多かったのですが、この結果の通り、ある分野では東大生の平均IQを超え、またある分野では境界域という、極端で激しすぎる“差”こそが私が今まで生きてくさを感じてきた原因だったのです！

最初は「検査結果なんて見たくもないぞ」と思っていたのですが、最近は何か蹟く度に原因を解明すべく、結果を見て自己分析をするようになりました。分析をすると、「これは仕方ないことなのか」と受け入れられてスッキリしますし、「じゃあどうしていけば良いだろう？何か対策や改善策があるはず！」と考えられるようになります。

それにしても、結果を見るとどうしても低い能力にばかり目が行ってしまうので、これからは高い能力にも目を向けていきたいです…！

皆さんも悩んで大変な思いをしている時は不得手な部分しか見れなくなってしまうかもしれませんが、そういう時こそプラスに自分の良いところに目を向けていきましょう！

障がいってなんだろう？

担当：〇〇〇

第3回

見えるけど見えないもの②

障がいって何だろう？
見えるだけが全てではない

「そもそも障がいってなんだろう？」というテーマに立ち返り、考えていく第3回。

今回は「目」にまつわる障がいとして〇〇〇の円錐角膜を事例にあげました。2回目の今回は「色弱・色盲」についてお伝えしたいと思います。

【補足】日本眼科学会は2005年度、眼科用語集の改訂を行いました。その中では「色盲」「色弱」という言葉は使われなくなりました。また「赤緑色盲」「赤緑色弱」などのことばも使われなくなり「色覚異常」としましたが、差別感がある表現に〇〇〇は感じる為、今後は「色弱」としてお伝えします。

真ん中の果実は何色に見えますか？



右図は色弱で赤色が見えない人のイメージ画像です。
※見えない色は人それぞれです。
信号など日常生活で見えない色によって生活に支障をきたすこともあります。

大多数の方は「赤色」に見えると思います。しかし、それが当たり前ではありません。

■ 色弱の種類 ■

A: 色弱

人間の目には色を感じる細胞が3種類あります。(青：S錐体 緑：M錐体 赤：L錐体) それぞれの錐体細胞が通常の人より少なく色味を感じる差があります。

B: (旧呼称：色盲)

青：S錐体 緑：M錐体 赤：L錐体のうちどれかの細胞がない状態です。例えば、S錐体がないと青色が見えなく、M錐体がないと緑色が見えないです。

実は誰でもなりうる!?

そのほかにも!



C: 加齢・病気による変化

AとBは先天的に起こることが多いです。加齢や病気の変化で緑内障、白内障といったものが有名ですが、健康であっても後天的に色覚が変わります。

青色を読み取るS錐体は元から少なく、加齢で余計に少なくなりやすい。結果的に加齢で濁った眼に青色が見づらくなり、若者と比べると視野全体が黄色っぽくすんで見えやすい。

なぜ?



□ ■色弱の方々にも分かりやすくする為にどうしたらいい? □ ■

- 2色以上を使う際は明度差と色の対比を大きくする。
例：明度差が大きい補色 (図1)
→色弱の人は明度で色を判断することもあります。
- やむを得ず明度が近い色同士を使用する際、間に白や黒色などで分ける。(図2)
- 色に言葉も併記する。例：テレビのリモコン (図3)



基本的な配慮が守られていない雑誌も意外に多いです。左記のような少しの気遣いをお願いしたいものです。

